学振国第１―４０号
事　務　連　絡
平成２７年２月２日

関係大学長
関係研究機関長
関係学協会会長
関係団体　　各位

独立行政法人日本学術振興会

「ノーベル・プライズ・ダイアログ・東京 2015」の開催について（案内）

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会は、ノーベル財団（ノーベル・メディアＡＢ）との共同主催により、平成２７年３月１日（日）に「ノーベル・プライズ・ダイアログ・東京 2015」（英文：Nobel Prize Dialogue Tokyo 2015）を東京にて開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

本イベントは、2012 年より毎年スウェーデンにおいてノーベル賞授賞式の時期に開催されている一般向けの公開シンポジウムである「Nobel Week Dialogue」をスウェーデン国外で初めて開催するものです。

本イベントでは、学術に対する社会の関心・理解度を高め、学術の振興に寄与することを目的とし、国内外から招いたノーベル賞受賞者（7、8 名を予定）を含む著名な研究者や有識者が一堂に会し、公開での講演と対話を行い、社会一般と対話する貴重な機会となります。

本イベントへの参加登録につきましては、既に予定の定員に達しましたため、受付を終了しておりますが、開催当日の３月１日（日）に会議の様子を専用ウェブサイト（http://www.nobelprizedialogue.org/tokyo2015/jp）においてライブ配信を行う予定ですので、ぜひそちらをご覧ください。詳細につきましては同ウェブサイトにてご案内致します。

よろしくお願い申し上げます。

記

＜開催概要＞

１．会議の名称

和文名：ノーベル・プライズ・ダイアログ・東京 2015

英文名：Nobel Prize Dialogue Tokyo 2015

２．主　　催

独立行政法人日本学術振興会

ノーベル財団（ノーベル・メディアＡＢ）

３．後援

文部科学省、外務省、読売新聞社ほか

４．開催日時

平成 27 年 3 月 1 日（日）10:00―17:30

５．開催場所

東京国際フォーラム ホール B5/B7

６．テーマ

The Genetic Revolution and its Future Impact（生命科学が拓く未来）

７．プログラム

講演、パネルディスカッション、テーマ別分科会

８．主な登壇予定者（ノーベル賞受賞者）

- 天野　浩　名古屋大学大学院工学研究科教授（2014 年物理学賞受賞）
- 山中 伸弥　京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授(2012 年生理学・医学賞受賞）
- 田中　耕一　株式会社島津製作所質量分析研究所所長・シニアフェロー（2002 年化学賞受賞）
- アンドリュー・ファイヤー（米国、2006 年生理学・医学賞）
- クルト・ヴュートリッヒ（スイス、2002 年化学賞受賞）
- ティム・ハント（英国、2001 年生理学・医学賞受賞）
- リチャード・ロバーツ（英国、1993 年生理学・医学賞受賞）

そのほかの登壇者は決まり次第、専用のウェブサイトにて順次お知らせ致します。

９．言語

英語（日英同時通訳付き）

10．参加数

1,000 名程度

11．専用ホームページ（開催当日のライブ配信予定）

http://www.nobelprizedialogue.org/tokyo2015/jp

＜お問い合せ先＞

【ノーベル・プライズ・ダイアログ東京 2015 運営事務局（株式会社コングレ内）】

E-mail：sec-npdtokyo_2015@congre.co.jp

TEL：03-3263-4034

（営業時間： 土日祝日を除く、平日 10:00～17:00）